

アレクサンダー・フォン・フンボルト財団奨学金応募についてのご注意

日本独文学会会員の皆様

日本フンボルト協会関東甲信越支部長の香田（〔元〕慶應義塾大学）と申します。

アレクサンダー・フォン・フンボルト財団（本部ボン）では年3回（3月15日、7月15日、11月15日）に研究奨学金（Forschungsstipendium für Postdocs und Erfahrene Forschende）を公募していますが、今年度から応募人数を先着800名に制限するとの連絡がありました。

応募者数を制限する理由は、1）中国、インドからの応募者の急増、2）生成AIによる応募書類作成の簡便化、3）アメリカ合衆国からEU圏、特に安全性の高いドイツへの研究者層の移動によって応募が急増し、財団の審査体制が追いつかなくなったことにあります。

財団の報告によると、7月は応募開始後2、3日で定員に達し、その後はシステムが閉鎖され受付ができなくなったそうです。

状況は今後さらに厳しくなると考えられています。

日本独文学会会員の中にも応募をご検討なさっている方がいらっしゃると思いますが、応募開始日までに書類をそろえて、現地時間開始日当日に出願されることをお勧めします。

詳細は Alexander von Humboldt Stiftung のホームページをご覧ください。

[Humboldt-Forschungsstipendium](#)

日本フンボルト協会のホームページでも近々情報を正式に告知する予定ですが、会員の方には一足先に周知したほうがよいと考えてお知らせしました。

よろしくお願いいたします。